

# SMART Board® 6000 and 6000 Proシリーズインタラクティブディスプレイ

## ユーザーズマニュアル

SPNL-6365-V3/SBID-6365 | SPNL-6375-V3 | SPNL-6265-V3/SBID-6265 | SPNL-6275-V3  
SPNL-6065-V3/SBID-6065 | SPNL-6075-V3 | SPNL-6365-V2 | SPNL-6375  
SPNL-6265-V2 | SPNL-6275 | SPNL-6065-V2 | SPNL-6075 | SPNL-6055 | SPNL-6065  
SPNL-6365P | SPNL-6375P | SPNL-6265P | SPNL-6275P | SPNL-6065P | SPNL-6075P



## 詳細

このガイド および SMART Board 6000 シリーズ インタラクティブ ディスプレイ 用のその他 リソースは、SMART ウェブサイトのサポート セクション ([smarttech.com/support](http://smarttech.com/support)) からご利用いただけます。お使いのモバイルデバイスでこのQRコードを読み取ると、リソースにアクセスできます。

### ライセンス

HDMI および HDMI 高解像度 マルチメディア インターフェース および HDMI のロゴは、米国 およびその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。Bluetooth のワードマークは Bluetooth SIG, Inc. の所有であり、SMART Technologies ULC は使用許諾を受けてこのマークを使用しています。

### 商標表示

SMART Board、SMART Notebook、SMART インク、SMART kapp、SMART kapp iQ、Pen ID、smarttech、SMART ロゴ および SMART のすべてのキャッチフレーズは米国 および、またはその他の国の SMART Technologies ULC の商標または登録商標です。Windows および Internet Explorer は、米国 および、またはその他の国の Microsoft 社の登録商標または商標です。Apple、Mac、OS X、iPhone、iPad、iPod touch、AirPlay および Safari は、米国 およびその他の国における Apple 社の登録商標です。Google、Google Cast、Google Drive、Google Play、Android、Chrome、Chromebook および Chromecast は Google Inc. の商標です。Adobe、Acrobat、Reader、Flash および Flash Player は Adobe Systems Incorporated の登録商標または商標で、米国 やその他の国で登録されています。AirParrot は Squirrels LLC の商標で、米国 およびその他の国で登録されています。その他すべてのサードパーティ製製品 および会社名は、それぞれの所有者の商標である可能性があります。

### 著作権表示

© 2017–2018 SMART Technologies ULC. All rights reserved. SMART Technologies ULC の事前の書面による許可なく本書の一部または全部を複製、転載、頒布、ならびに形式、方法を問わず他言語へ翻訳することは禁止されています。本書の内容は予告なく変更される場合がありますが、SMART Technologies が変更を約束するものではありません。

ここに記載された本製品やその使用法は、以下の米国の特許によって保護されています。

[www.smarttech.com/patents](http://www.smarttech.com/patents)

2018年11月

# 注意事項

## 注記

ディスプレイの設置およびメンテナンスに関する重要情報は、インストールおよびメンテナンスガイドを参照してください(11 ページ詳細情報参照)。

## 警告

- ディスプレイを開けたり分解しないで下さい。筐体内の高電圧で感電する危険性があります。また、筐体を開けた場合には、保証は適用されません。
- ディスプレイの画面にタッチするために椅子に乗らないでください。(特にお子様には)ご注意ください。
- 火事や感電の恐れがありますので、ディスプレイは雨にさらしたり湿気のあるところに置かないでください。
- 危険な電圧部分に触れる可能性があり、保証の対象ではない恐れのある電気ショック、火災や製品損傷の原因となるので、キャビネットの換気口内に物を入れないでください。
- 電源ケーブルの上に重い物を置かないでください。ケーブルへの損傷が、保証の対象ではない恐れのある衝撃、火災や製品損傷の原因となる可能性があります。
- ガラスが破損している場合は、液晶に触れないでください。怪我を防ぐために、廃棄の際にはガラスの破片を慎重に取扱います。
- ディスプレイのすべての電源ケーブルをコンセントから外し、次のいずれかが発生した場合、資格のあるサービス担当者からの支援を求めます。
  - 電源ケーブルまたは電源プラグが破損している
  - ディスプレイに液体をこぼした
  - ディスプレイに物を落とした
  - ディスプレイの落下
  - ひび割れなどの、構造上の損傷の発生
  - 取扱説明書厳守時のディスプレイの予期せぬ動作

## 米連邦通信委員会の干渉に関する声明

本デバイスは、FCC規則第15章に準拠しています。操作は次の2つの条件に従うものとします: (1)本デバイスが有害な干渉を引き起こさない事、(2)本デバイスが望ましくない操作を引き起こす干渉を含め、受信した何らかの干渉を受け入れる必要がある事

## 注意事項

この機器は、検査を行い、FCC規則第15章で定められたA分類のデジタル機器の規制に準拠することが確かめられました。これらの規制は、住居への設置での有害な混信に対し妥当な保護機能を提供することを目的としています。本装置は、無線周波数を生成・使用・発信するもので、指定の方法に従わずに設置・使用すると、無線通信に関し有害な混信を引き起こす場合があります。ただし、特定の設置において干渉が発生しないという保証はありません。この装置がテレビやラジオに有害な干渉を引き起こす場合、装置をON/OFFにすることによって確認できますが、ユーザーは、次の措置のいずれかによって干渉の修正を試みることを推奨されます。

- 受信アンテナの位置や方向を変える。
- 装置と受信機の間隔を広げる。
- 受信機が接続されている別の回路のコンセントに装置を接続する。
- 販売店または経験のあるラジオ/テレビ技術者にサポートの相談をする。

FCCによる警告：コンプライアンス担当責任者による明確な承認のあらゆる変更または修正が本装置を操作するユーザーの権限を無効にする可能性があります。

本送信機は他のアンテナまたは送信機とつないで共存または操作されないようにする必要があります。

5.15–5.25GHz周波数帯域稼働は、屋内での使用のみに制限されます。5150~5250MHzでの屋外操作が禁止されています。

## 放射線被爆ステートメント

本装置は、FCCの被曝制限の制御されていない環境に対して規定に準拠しています。本装置は人体と放射体の間に20cmの最小距離を設けたり、管理する必要があります。

注：国コードの選択は米国外向けモデルのみとし、すべての米国モデルは利用できません。FCC規則毎に、米国で市販されているすべてのWi-Fi製品は米国での稼働チャンネルのみに修正する必要があります。

## カナダ産業省ステートメント

本デバイスは、カナダの産業規則RSS-247に準拠しています。操作は次の2つの条件に従うものとします：(1)本デバイスが有害な干渉を引き起こさない事、(2)本デバイスが望ましくない操作を引き起こす干渉を含め、受信した何らかの干渉を受け入れる必要がある事

## 注意事項

(i)5150-5250MHz帯域での操作用デバイスは同一チャンネルの携帯電話衛星システムへの有害な干渉の可能性を軽減するために屋内使用のみとなります。

(ii)5250-5350MHzおよび5470-5725MHzの帯域で、デバイス用に許可された最大アンテナ利得はe.i.r.p.制限に準拠するものとし、そして

(iii)5725-5825MHzの帯域で、デバイス用に許可された最大アンテナ利得は必要に応じてポイントツーポイントとポイントツーポイント以外の操作に指定されるe.i.r.p.制限に準拠するものとします。

(iv)ユーザーは、高出力レーダーが、5250-5350MHzおよび5650-5850MHz帯域のプライマリユーザーとして(つまり、優先ユーザー)割り当てられること、さらにこれらのレーダーがLE-LANデバイスへの干渉および/または損傷を引き起こす可能性がある事も勧告されるものとします。

## 放射線被爆ステートメント

本装置は、ICの被曝制限の制御されていない環境に対して規定に準拠しています。本装置は人体と放射体の間に20cmの最小距離を設けたり、管理される必要があります。

## EU適合宣言

SMART Technologies ULCはここに、ラジオ機器の種類のOPS、AM40が2014/53/EU指令に準拠していることを宣言します。

EU適合宣言の完全なテキストは次のインターネットアドレスでご利用可能です：[smarttech.com/compliance](https://smarttech.com/compliance)

EUの周波数帯域と最大送信電力は次のとおりです。

## 注意事項

| 送信帯域(MHz)   | 最大送信電力EIRP(dBm) |
|-------------|-----------------|
| 2400–2483.5 | 19              |
| 5150–5350   | 16              |
| 5470–5725   | 16              |

## 制限事項

AT/BE/BG/CZ/DK/EE/FR/DE/IS/IE/IT/EL/ES/CY/LV/LI/LT/LU/HU/MT/NL/NO/PL/PT/RO/SI/SK/TR/FI/SE/CH/UK/HR. 5150MHz-5350MHzは、室内利用限定です。

### 注意事項: 無線周波数の被曝

本装置は、EUの被曝制限の制御されていない環境に対して規定に準拠しています。本装置は人体と放射体の間に20cmの最小距離を設けたり、管理する必要があります。

# Windows® 10オペレーティングシステムに関する Microsoft®のステートメント

Windows 10の自動更新は常に有効になっています。ISP料金が適用される場合があります。将来的に更新に関する追加的要件が適用される場合があります。



# 目次

|   |           |
|---|-----------|
| <b>注意事項</b>                                 | <b>i</b>  |
| 米連邦通信委員会の干渉に関する声明                           | i         |
| カナダ産業省ステートメント                               | ii        |
| EU適合宣言                                      | ii        |
| Windows 10オペレーティングシステムに関するMicrosoftのステートメント | iii       |
| <b>第1章: ようこそ</b>                            | <b>1</b>  |
| 本ガイドについて                                    | 1         |
| モデルの見分け方                                    | 1         |
| 特徴  | 3         |
| 構成部品  | 4         |
| アクセサリ                                       | 10        |
| 詳細情報  | 11        |
| <b>第2章: ディスプレイの使用</b>                       | <b>15</b> |
| ディスプレイをオンまたはオフにする                           | 15        |
| フロントコントロールパネルの使用                            | 16        |
| タッチ機能の使用                                    | 19        |
| ペンの使用                                       | 20        |
| iQの使用                                       | 21        |
| Intel Compute Cardの接続と使用                    | 23        |
| コンピューターの接続と使用                               | 24        |
| <b>第3章: トラブルシューティング</b>                     | <b>29</b> |
| 電源の問題解決                                     | 30        |
| プレゼンス検知に関する問題の解決およびタッチしてスリープを解除します          | 30        |
| 前面コントロールパネルの問題の解決                           | 31        |
| ビデオの問題解決                                    | 31        |
| 画質の問題解決                                     | 32        |
| オーディオの問題解決                                  | 33        |
| タッチおよびデジタルインクの問題解決                          | 34        |
| iQの問題解決                                     | 35        |
| Intel Compute Cardの問題解決                     | 35        |
| ソフトウェアの問題解決                                 | 35        |
| その他の問題に関しては、SMARTナレッジベースを参照してください           | 35        |
| その他のサポート、販売店へのお問い合わせ                        | 35        |





## 第 1 章 ようこそ

|   |    |
|---|----|
| 本ガイドについて .....  | 1  |
| モデルの見分け方 .....  | 1  |
| SMART Board 6000または6000 Proシリーズインタラクティブディスプレイモデルの識別 ..... | 2  |
| お使いのiQコントローラモデルの特定方法 .....                                | 3  |
| 特徴 .....  | 3  |
| 構成部品 .....  | 4  |
| iQコントローラ (およびIntel Compute Card) .....                    | 5  |
| 画面 .....  | 6  |
| イレーザ付きペン .....  | 7  |
| フロントコントロールパネル .....                                       | 7  |
| プレゼンス検知センサー .....   | 9  |
| 内蔵スピーカー .....   | 9  |
| アクセサリ .....   | 10 |
| SMARTウォールマウントおよびウォールスタンド .....                            | 10 |
| SMART可動式スタンド .....  | 10 |
| SBA-100オーディオシステム .....                                    | 11 |
| SMART Audio 400教室用音響システム .....                            | 11 |
| USB延長ケーブル .....   | 11 |
| 詳細情報 .....  | 11 |

本章では、SMART Board® 6000または6000 Proシリーズのインタラクティブディスプレイをご紹介します。

## 本ガイドについて

本ガイドでは、SMART Board 6000または6000 Proシリーズのインタラクティブディスプレイをご利用になる方法についてご説明致します。

本ガイドは組織でディスプレイを使用する個人向けです。ディスプレイをご利用になる方向けのその他の書類や資料がご利用可能です(11 ページ詳細情報を参照)。

## モデルの見分け方

SMARTは、複数モデルのSMART Board 6000および6000 Proシリーズインタラクティブディスプレイを提供しています。

## SMART Board 6000または6000 Proシリーズインタラクティブディスプレイモデルの識別

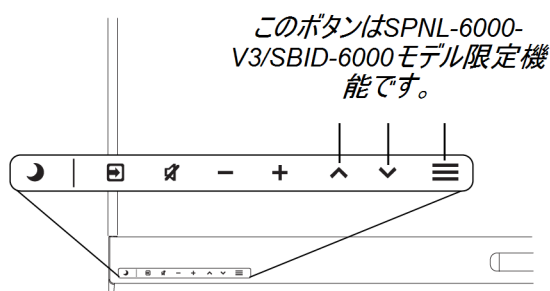
SMART Board 6000および6000 Proシリーズのインタラクティブディスプレイの下記のモデルが販売中です。

| モデル                              | フレームのスタイル | 画面サイズ(概寸)    | iQ  |
|----------------------------------|-----------|--------------|-----|
| <b>SPNL-6000-V3/SBID-6000モデル</b> |           |              |     |
| SPNL-6365-V3/SBID-6365           | 白         | 65"(165cm)   | はい  |
| SPNL-6375-V2                     | ホワイト      | 75" (190 cm) | はい  |
| SPNL-6265-V3/SBID-6265           | 白         | 65"(165cm)   | はい  |
| SPNL-6275-V3                     | 白         | 75" (190 cm) | はい  |
| SPNL-6065-V3/SBID-6065           | ホワイト      | 65"(165cm)   | いいえ |
| SPNL-6075-V3                     | 白         | 75" (190 cm) | いいえ |
| <b>SPNL-6000-V2モデル</b>           |           |              |     |
| SPNL-6365-V2                     | 白         | 65"(165cm)   | はい  |
| SPNL-6375                        | 白         | 75" (190 cm) | はい  |
| SPNL-6265-V2                     | 白         | 65"(165cm)   | はい  |
| SPNL-6275                        | 白         | 75" (190 cm) | はい  |
| SPNL-6065-V2                     | 白         | 65"(165cm)   | いいえ |
| SPNL-6075                        | 白         | 75" (190 cm) | いいえ |
| <b>SPNL-6000-V1モデル</b>           |           |              |     |
| SPNL-6055                        | 白         | 55" (140 cm) | いいえ |
| SPNL-6065                        | 白         | 65"(165cm)   | いいえ |
| <b>SPNL-6000Pモデル</b>             |           |              |     |
| SPNL-6365P                       | 艶消し金属     | 65"(165cm)   | はい  |
| SPNL-6375P                       | 艶消し金属     | 75"(190cm)   | はい  |
| SPNL-6265P                       | 艶消し金属     | 65"(165cm)   | はい  |
| SPNL-6275P                       | 艶消し金属     | 75" (190 cm) | はい  |
| SPNL-6065P                       | 艶消し金属     | 65"(165cm)   | いいえ |
| SPNL-6075P                       | 艶消し金属     | 75" (190 cm) | いいえ |

製品寸法・重量(11 ページ詳細情報を参照)を含むこれらの各モデルに関する詳細な技術情報については、仕様書をご参照ください。

## 注記

- SPNL-6000-V1モデルは販売を終了しています。
- SPNL-6000-V3/SBID-6000モデルを見分ける最も容易な方法は、前面のコントロールパネルです。SPNL-6000-V3/SBID-6000モデルの前面コントロールパネルの方がボタンの数が3つ多くなっています。



## お使いのiQコントローラモデルの特定方法

iQコントローラがアクセサリスロットに接続された一部のモデルでは、iQ機能を使用することができます。SMART は、複数モデルのiQコントローラを提供しています。

[iQ識別ウィザード](#)を使用して、ディスプレイに設置されているiQのモデルを識別します

## 特徴

SMART Board 6000または6000 Proシリーズインタラクティブディスプレイは、教室や会議室の中心です。PC不要の組み込みコンピューティングにより、ホワイトボードや、ワイヤレスでの画面共有、ウェブブラウザといったコラボレーションツールにワンタッチでアクセスできます。電線やケーブル、マニュアルファイル、ファームウェアの更新等は不要です。

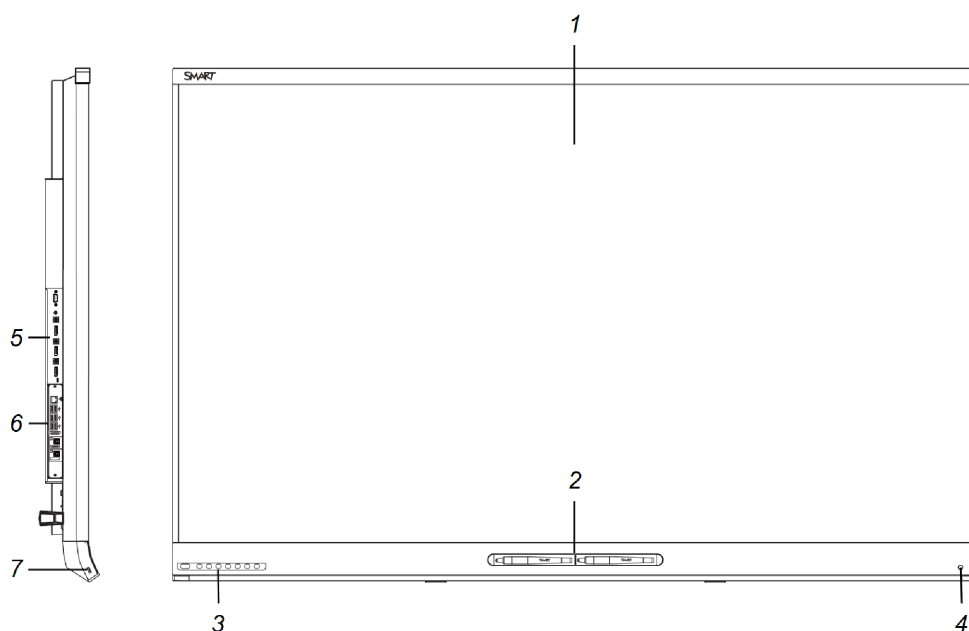
本ディスプレイの特徴:

| 特徴    | 説明   |
|-------|--|
| iQの使用 | ディスプレイのiQコントローラからワンタッチで、ホワイトボード、ワイヤレス画面共有、ウェブブラウザなどのコラボレーションツールにアクセスできます。<br>SPNL-6365-V3/SBID-6365、SPNL-6375-V3、SPNL-6365-V2、SPNL-6375、SPNL-6365P、およびSPNL-6375Pの各モデルには、Intel Compute Cardが搭載されており、外付けPCやケーブル接続の必要なくWindows 10の機能も指一本で操作することができます。 |

| 特徴          | 説明  |
|-------------|---|
| タッチ操作       | <p>アプリケーションの開始と終了、他人と交流、新規ドキュメントの作成や既存ドキュメントの編集、ウェブページの閲覧、ビデオの再生や編集、など、コンピューターでできることはすべて、ディスプレイの表面をタッチする操作で行うことができます。</p> <p>アプリケーションでは縮小、拡大、回転、ズームイン、ズームアウトなどの様々なジェスチャを使用することができます。</p> <p>少なくとも4ヶ所の同時タッチ用のディスプレイのサポートで、お客様と他のユーザーが同時に画面上のオブジェクトを使って情報をやりとりできます。</p> |
| 書き込みおよび描画操作 | <p>付属ペンのいずれかを使用してデジタルインクでアプリケーションを上書きし、その後掌またはペンのインク消しを使用してデジタルインクを消去できます。</p> <p>2名が同時にデジタルインクで画面に書き込んだり描画したりできます。Pen ID™機能で、ペン毎に異なる線種などを割り当てることができます。</p>   |
| オーディオの操作    | <p>本ディスプレイには、接続された入力ソースからの音声出力する内蔵スピーカーが含まれています。</p>  |

## 構成部品

ディスプレイは、次の部品で構成されています。



| No.     | 名前                               | 詳細情報   |
|---------|----------------------------------|--------|
| 図中に表示あり |                                  |        |
| 1       | 画面                               | 6 ページ  |
| 2       | インク消し付 ペン(×2)                    | 7 ページ  |
| 3       | フロントコントロールパネル                    | 7 ページ  |
| 4       | 存在検知 センサー                        | 9 ページ  |
| 5       | コネクタパネル                          | 26 ページ |
| 6       | iQコントローラ (およびIntel Compute Card) | 5 ページ  |
| 7       | USBレセプタクル                        | [N/A]  |
| 図中に表示なし |                                  |        |
| 8       | メニューコントロールパネル <sup>1</sup>       | 該当なし   |
| 9       | スピーカー                            | 9 ページ  |

## iQコントローラ (およびIntel Compute Card)

以下のモデルでは、iQコントローラは背面のアクセサリスロットに接続されています。

- SPNL-6365-V3/SBID-6365
- SPNL-6375-V3
- SPNL-6265-V3/SBID-6265
- SPNL-6275-V3
- SPNL-6365-V2
- SPNL-6375
- SPNL-6265-V2
- SPNL-6275
- SPNL-6365P
- SPNL-6375P
- SPNL-6265P
- SPNL-6275P

iQテクノロジーを利用して、様々な共同作業ツールにアクセスすることができます。

SPNL-6365-V3/SBID-6365、SPNL-6375-V3、SPNL-6365-V2、SPNL-6375、SPNL-6365P、およびSPNL-6375Pの各モデルには、Intel Compute Cardが搭載されており、外付けPCやケーブル接続の必要なくWindows 10の機能も指一本で操作することができます。

---

<sup>1</sup>SPNL-6000-V2、SPNL-6000-V1、およびSPNL-6000Pモデルのみ

## ヒント

SMARTサポートサイトの*iQ機器のモデルを識別ウィザード*を使用して、iQ機器のモデルを識別します。

## 画面

画面サイズはモデルにより異なります。

| モデル                              | 対角                     | 幅                    | 高さ                  |
|----------------------------------|------------------------|----------------------|---------------------|
| <b>SPNL-6000-V3/SBID-6000モデル</b> |                        |                      |                     |
| SPNL-6365-V3/<br>SBID-6365       | 64 1/2"(163.9cm)       | 56 1/4"(142.8cm)     | 31 5/8"(80.4cm)     |
| SPNL-6375-V3                     | 75"(190.5cm)           | 65" (165.2 cm)       | 38 5/8" (93 cm)     |
| SPNL-6265-V3/<br>SBID-6265       | 64 1/2"(163.9cm)       | 56 1/4"(142.8cm)     | 31 5/8"(80.4cm)     |
| SPNL-6275-V3                     | 75"(190.5cm)           | 65" (165.2 cm)       | 38 5/8" (93 cm)     |
| SPNL-6065-V3/<br>SBID-6065       | 64 1/2"(163.9cm)       | 56 1/4"(142.8cm)     | 31 5/8"(80.4cm)     |
| SPNL-6075-V3                     | 75"(190.5cm)           | 65" (165.2 cm)       | 38 5/8" (93 cm)     |
| <b>SPNL-6000-V2モデル</b>           |                        |                      |                     |
| SPNL-6365-V2                     | 64 1/2"(163.9cm)       | 56 1/4"(142.8cm)     | 31 5/8"(80.4cm)     |
| SPNL-6375                        | 75"(190.5cm)           | 65" (165.2 cm)       | 38 5/8" (93 cm)     |
| SPNL-6265-V2                     | 64 1/2"(163.9cm)       | 56 1/4"(142.8cm)     | 31 5/8"(80.4cm)     |
| SPNL-6275                        | 75"(190.5cm)           | 65" (165.2 cm)       | 38 5/8" (93 cm)     |
| SPNL-6065-V2                     | 64 1/2"(163.9cm)       | 56 1/4"(142.8cm)     | 31 5/8"(80.4cm)     |
| SPNL-6075                        | 75"(190.5cm)           | 65" (165.2 cm)       | 38 5/8" (93 cm)     |
| <b>SPNL-6000-V1モデル</b>           |                        |                      |                     |
| SPNL-6055                        | 54 1/2"(インチ) (138.4cm) | 47 5/8"(インチ) (121cm) | 26 3/4"(インチ) (68cm) |
| SPNL-6065                        | 64 1/2"(163.9cm)       | 56 1/4"(142.8cm)     | 31 5/8"(80.4cm)     |
| <b>SPNL-6000Pモデル</b>             |                        |                      |                     |
| SPNL-6365P                       | 64 1/2"(163.9cm)       | 56 1/4"(142.8cm)     | 31 5/8"(80.4cm)     |
| SPNL-6375P                       | 75"(190.5cm)           | 65" (165.2 cm)       | 38 5/8" (93 cm)     |
| SPNL-6265P                       | 64 1/2"(163.9cm)       | 56 1/4" (142.8 cm)   | 31 5/8"(80.4cm)     |
| SPNL-6275P                       | 75"(190.5cm)           | 65" (165.2 cm)       | 38 5/8" (93 cm)     |
| SPNL-6065P                       | 64 1/2"(163.9cm)       | 56 1/4" (142.8 cm)   | 31 5/8"(80.4cm)     |
| SPNL-6075P                       | 75"(190.5cm)           | 65" (165.2 cm)       | 38 5/8" (93 cm)     |

画面の隅にあるカメラは、ディスプレイ全体での指やペンの位置を追跡します。画面は反射テープを含むチャンネルにより囲まれています。

#### ⚠ 注意事項

- 反射テープは湿気を避けてください。
- 反射テープを取り除いたりまたは傷めないでください。

#### ❗ 重要事項

- カメラに干渉するので付箋メモやその他のアイテムを画面に貼り付けしないでください。
- カメラに干渉するので反射テープチャンネルに物を置かないで下さい。

## レーザー付きペン

ディスプレイには、付属の2本のインク消し付ペンが付属しています。

ディスプレイの下側フレームには、ペンを収納するマグネットホルダーがあります。ホルダーからペンを外すとペンが作動し、デジタルインクで描画したり消したりといった作業を行うことができます。

#### ⚠ 注意事項

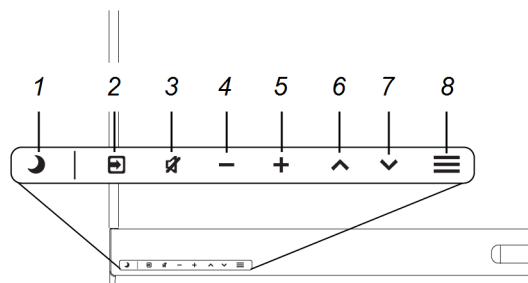
ペンをマグネットホルダーに戻す際は、落下や損傷を避けるためにホルダーの中心に置いてください。

#### ❗ 重要事項

SMART Board 6000および6000 Proシリーズインタラクティブディスプレイ用に設計されたペンのみを使用してください([smarttech.com/kb/171230](https://smarttech.com/kb/171230)参照)。

## フロントコントロールパネル

フロントコントロールパネルには、「待機」、「入力選択」、「ミュート」、ボリュームコントロールおよびオンスクリーンディスプレイメニューボタンが含まれています。



| No. | 名前                | 手順   |
|-----|-------------------|--|
| 1   | スタンバイ             | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 押すとスタンバイモードを終了します。</li><li>・ 2回押すとスタンバイモードになります。</li><li>・ 押し続けるとディスプレイがリセットされます。</li></ul>  |
| 2   | 選択                | <ul style="list-style-type: none"><li>・ オンスクリーンディスプレイメニューが開いていない場合は、押して入力を切り替えます。</li><li>・ オンスクリーンディスプレイメニューが開いている場合、押すと現在選択されているメニューが開きます。<sup>2</sup></li></ul>   |
| 3   | ミュート              | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 押すとミュート、またはミュート解除されます。</li><li>・ 押したままにすると画面を固定、または固定解除します (24 ページ参照)。</li></ul>   |
| 4   | 下げる               | <ul style="list-style-type: none"><li>・ オンスクリーンディスプレイメニューが開いていない場合は、押してボリュームを下げます。</li><li>・ オンスクリーンディスプレイメニューが開いている場合、現在選択されているオプションの値を減少するボタンを押します。<sup>2</sup></li></ul>                                |
| 5   | 上げる               | <ul style="list-style-type: none"><li>・ オンスクリーンディスプレイメニューが開いていない場合は、ボリュームを上げるボタンを押します。</li><li>・ オンスクリーンディスプレイメニューが開いていない場合、現在選択されているオプションの値を減少するボタンを押します。<sup>2</sup></li></ul>                           |
| 6   | 上に移動 <sup>2</sup> | 押すと現在のメニューの以前のオプションに移動します。   |
| 7   | 下に移動 <sup>2</sup> | 押すと、現在のメニューの次のオプションに移動します。   |
| 8   | メニュー <sup>2</sup> | <ul style="list-style-type: none"><li>・ オンスクリーンディスプレイメニューが開いていない場合は、押してオンスクリーンディスプレイメニューを開きます。</li><li>・ オンスクリーンディスプレイメニューが開いている場合は、押すと以前のメニューに戻ります。</li><li>・ 押したままにすると、オンスクリーンディスプレイメニューが閉じます。</li></ul> |

#### ! 重要事項



- ・ フロントコントロールパネル上にフィルムがある場合は、フロントコントロールパネルを使用する前に取り外します。
- ・ ボタンを押しても反応しない場合、前面のコントロールパネルが無効になっている場合があります。前面のコントロールパネルを有効にするには、スタンバイボタンを点灯するまで押し続けてください。

通常動作時、すべてのボタンは白色です。

<sup>2</sup>SPNL-6000-V3/SBID-6000モデルのみ



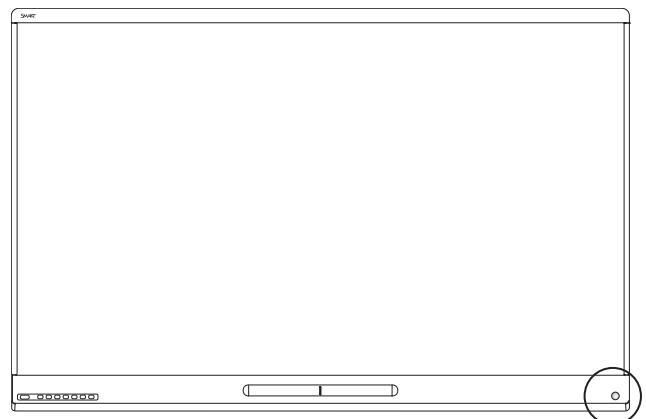
スタンバイボタンは、インジケータライトとしても機能します。

| インジケータライト   | ステータス                                    | 手順   |
|-------------|--|--|
| 白色に点灯       | 通常動作                                     | [N/A]  |
| オフ          | 電源なし                                     | <ul style="list-style-type: none"><li>ディスプレイの電源ケーブルが電源コンセントに接続されていることを確認します。</li><li>AC電源差込口の横にあるスイッチを(I)の位置のONにフリックします。</li></ul>   |
| オレンジ点灯      | DPMS(電源管理)モード                            | <ul style="list-style-type: none"><li>「待機」ボタンを押して  DPMS モードを終了します。</li><li>入力ソースを接続します。</li></ul>   |
| オレンジでゆっくり点滅 | スタンバイモード                                 | <ul style="list-style-type: none"><li>「待機」ボタンを押して  「待機モード」を終了します。</li><li>プレゼンス検知が有効な場合、プレゼンス検知センサーの範囲で移動します。</li><li>タッチしてスリープ解除を有効にする場合は、画面にタッチします。</li></ul> |
| オレンジで点滅     | 接続されているコンピューターからのUSB接続なし                 | <ul style="list-style-type: none"><li>コンピューターへの接続を確認します。</li><li>コンピューターの入力に切り替えます。</li></ul> 26 ページ接続したコンピューターの入力の表示参照。   |
| 白でゆっくり点滅    | 接続されているコンピューターで実行されていない SMART Board サービス | SMART 製品ドライバーがインストールされ、SMART Board サービスが実行されていることを確認します。   |

## プレゼンス検知センサー

ディスプレイには、「待機」モードのとき、最大16' (5m)離れたところまで人を検知できる、ディスプレイ下部のフレームにプレゼンス検知センサーがあります。

ディスプレイONオプションが有効になっている場合、センサーが室内に人を検知するとディスプレイが点灯します。一定期間、室内の無人状態が続くと、ディスプレイはスタンバイモードになります。



## 内蔵スピーカー

本ディスプレイには、10Wスピーカーが2台内蔵されています。外付けスピーカーも接続できます。

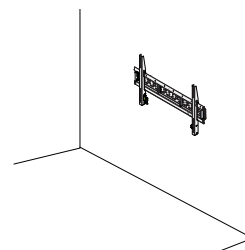
## アクセサリ

ディスプレイの関連製品は次のとおりです。

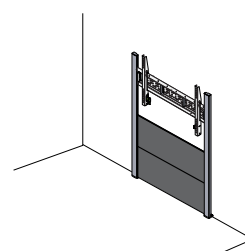
- SMARTウォールマウント
- SMARTウォールスタンド
- SMART可動スタンド
- SBA-100プロジェクションオーディオシステム
- SMART Audio 400教室用アンプシステム
- USB延長ケーブル

### SMARTウォールマウント およびウォールスタンド

壁にディスプレイを取り付けるには、SMART Wallマウントモデル WM-SBID-501を使用します。For more information about the SMARTウォールマウント, see the *SMARTウォールマウント installation instructions* ([smarttech.com/kb/170599](https://smarttech.com/kb/170599)).



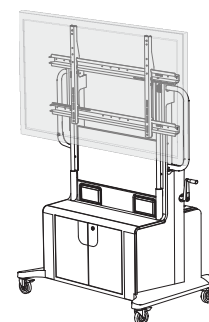
壁がディスプレイの重量を支えることができない場合は、壁から床への重量の一部を逃がすSMART Wallマウントと一緒にSMART Wallスタンドモデル WS-SBID-500を使用できます。For more information about the SMARTウォールスタンド, see the *SMARTウォールスタンド installation instructions* ([smarttech.com/kb/170466](https://smarttech.com/kb/170466)).



### SMART可動式スタンド

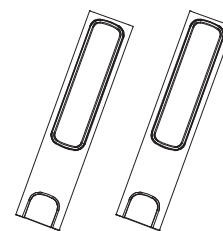
SMART可動スタンドには、高さが調節可能で、内蔵スピーカー、簡単な動作で回転やロックする機器とキャスターを固定するロックキャビネットなどがあります。

詳細につきましては、*SMART可動スタンド仕様書* ([smarttech.com/kb/131862](https://smarttech.com/kb/131862)) をご参照ください。



## SBA-100オーディオシステム

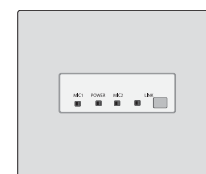
SBA-100オーディオシステムは、14Wスピーカー2台で構成し、教育機関向けの壁面設置型モデルに対応しています。ボリューム調整は、ディスプレイ前面の操作パネルまたは接続したコンピューターのボリュームコントローラで行います。



詳細に関しては、*SBA-100オーディオシステムの仕様* ([smarttech.com/kb/171146](https://smarttech.com/kb/171146)) を参照してください。

## SMART Audio 400教室用音響システム

SMART Audio 400教室用音響システムは教育機関向けモデルに対応した、高品質の音声増幅機能を提供する製品です。教師用マイクとオプションの生徒用マイクが付属しています。壁型および天井型スピーカーで構成する、マルチスピーカーオプションも選択可能です。アンプがマイクから受信したオーディオ信号を、スピーカーが鮮明な音で再現します。



詳細に関しては、*SMART Audio 400教室用音響システムの仕様* ([smarttech.com/kb/171137](https://smarttech.com/kb/171137)) を参照してください。

## USB延長ケーブル

SMART Board 6000および6000 Proシリーズのインタラクティブディスプレイのインストールとメンテナンスガイド([smarttech.com/kb/171167](https://smarttech.com/kb/171167))での記述どおり、ディスプレイとコンピューター間のUSB接続は16' (5 m)以上の長さが必要ではありません。5 m以上離れた場所のコンピューターと接続する場合は、次のいずれかのUSB延長ケーブルを使用してください。

| 延長ケーブル       | 仕様  |
|--------------|---|
| USB-XT       | <a href="https://smarttech.com/kb/119318">smarttech.com/kb/119318</a> |
| CAT5-XT-1100 | <a href="https://smarttech.com/kb/170202">smarttech.com/kb/170202</a> |

## 詳細情報

本ガイドに加え、SMARTは、ディスプレイ用に次の資料をご用意しています。

| 文書                     | リンク   |
|------------------------|---|
| <b>仕様と比較</b>           |   |
| SPNL-6365-V3/SBID-6365 | <a href="https://smarttech.com/kb/171322">smarttech.com/kb/171322</a> |
| SPNL-6375-V3           | <a href="https://smarttech.com/kb/171321">smarttech.com/kb/171321</a> |
| SPNL-6265-V3/SBID-6265 | <a href="https://smarttech.com/kb/171138">smarttech.com/kb/171138</a> |
| SPNL-6275-V3           | <a href="https://smarttech.com/kb/171139">smarttech.com/kb/171139</a> |

| 文書                                 | リンク   |
|------------------------------------|---|
| SPNL-6065-V3/SBID-6065             | <a href="https://smarttech.com/kb/171140">smarttech.com/kb/171140</a> |
| SPNL-6075-V3                       | <a href="https://smarttech.com/kb/171141">smarttech.com/kb/171141</a> |
| SPNL-6365-V2                       | <a href="https://smarttech.com/kb/171316">smarttech.com/kb/171316</a> |
| SPNL-6375                          | <a href="https://smarttech.com/kb/171143">smarttech.com/kb/171143</a> |
| SPNL-6265-V2                       | <a href="https://smarttech.com/kb/171142">smarttech.com/kb/171142</a> |
| SPNL-6275                          | <a href="https://smarttech.com/kb/171143">smarttech.com/kb/171143</a> |
| SPNL-6065-V2                       | <a href="https://smarttech.com/kb/171096">smarttech.com/kb/171096</a> |
| SPNL-6075                          | <a href="https://smarttech.com/kb/171011">smarttech.com/kb/171011</a> |
| SPNL-6055                          | <a href="https://smarttech.com/kb/170817">smarttech.com/kb/170817</a> |
| SPNL-6065                          | <a href="https://smarttech.com/kb/170640">smarttech.com/kb/170640</a> |
| SPNL-6365P                         | <a href="https://smarttech.com/kb/171314">smarttech.com/kb/171314</a> |
| SPNL-6375P                         | <a href="https://smarttech.com/kb/171313">smarttech.com/kb/171313</a> |
| SPNL-6265P                         | <a href="https://smarttech.com/kb/171219">smarttech.com/kb/171219</a> |
| SPNL-6275P                         | <a href="https://smarttech.com/kb/171218">smarttech.com/kb/171218</a> |
| SPNL-6065P                         | <a href="https://smarttech.com/kb/171234">smarttech.com/kb/171234</a> |
| SPNL-6075P                         | <a href="https://smarttech.com/kb/171235">smarttech.com/kb/171235</a> |
| AM50                               | <a href="https://smarttech.com/kb/171263">smarttech.com/kb/171263</a> |
| AM40                               | <a href="https://smarttech.com/kb/171182">smarttech.com/kb/171182</a> |
| AM30                               | <a href="https://smarttech.com/kb/171097">smarttech.com/kb/171097</a> |
| 比較                                 | <a href="https://smarttech.com/kb/171161">smarttech.com/kb/171161</a> |
| 設置手順                               |   |
| SPNL-6000-V3/SBID-6000             | <a href="https://smarttech.com/kb/171193">smarttech.com/kb/171193</a> |
| SPNL-6000-V2およびSPNL-6000P (65"モデル) | <a href="https://smarttech.com/kb/171107">smarttech.com/kb/171107</a> |
| SPNL-6000-V2およびSPNL-6000P (75"モデル) | <a href="https://smarttech.com/kb/170996">smarttech.com/kb/170996</a> |
| SPNL-6000-V1                       | <a href="https://smarttech.com/kb/170641">smarttech.com/kb/170641</a> |
| AM50                               | <a href="https://smarttech.com/kb/171294">smarttech.com/kb/171294</a> |
| AM40                               | <a href="https://smarttech.com/kb/171199">smarttech.com/kb/171199</a> |
| AM30                               | <a href="https://smarttech.com/kb/171090">smarttech.com/kb/171090</a> |
| クイックリファレンスおよびガイド                   |   |
| クイックリファレンス                         | <a href="https://smarttech.com/kb/171165">smarttech.com/kb/171165</a> |
| インストールおよびメンテナンスガイド                 | <a href="https://smarttech.com/kb/171167">smarttech.com/kb/171167</a> |

| 文書      | リンク   |
|---------|---|
| リリースノート |   |
| iQ機器    | <a href="https://smarttech.com/kb/171206">smarttech.com/kb/171206</a> |

これらの文書はSMARTのウェブサイト([smarttech.com/support](https://smarttech.com/support))のサポートセクションでご利用可能です。サポートセクションでSMART Board 6000および6000 Proシリーズのインタラクティブディスプレイページを表示するために本ガイドの表紙のQRコードをスキャンします。



## 第 2 章

# ディスプレイの使用

|  |    |
|--|----|
| ディスプレイをオンまたはオフにする .....                      | 15 |
| ディスプレイをオンにする .....                           | 15 |
| ディスプレイをオフにする .....                           | 16 |
| フロントコントロールパネルの使用 .....                       | 16 |
| オーディオの調整 .....                               | 18 |
| 画面の停止 .....                                  | 18 |
| タッチ機能の使用 .....                               | 19 |
| ペンの使用 .....                                  | 20 |
| 書き込み、描画および消去 .....                           | 20 |
| ペンの色、太さ、その他の変更 .....                         | 21 |
| iQの使用 .....                                  | 21 |
| ホーム画面の使用 .....                               | 21 |
| アプリライブラリの使用方法 .....                          | 21 |
| ファイルライブラリの使用方法 .....                         | 22 |
| ホワイトボードの使用方法 .....                           | 22 |
| SMART Notebook Playerの使用方法 .....             | 22 |
| ブラウザの使用 .....                                | 22 |
| 入力の使用方法 .....                                | 22 |
| 画面の共有 (Screen Share) の使用方法 .....             | 23 |
| スクリーンショットの使用 .....                           | 23 |
| ディスプレイのクリーンアップ .....                         | 23 |
| Intel Compute Cardの接続と使用 .....               | 23 |
| コンピューターの接続と使用 .....                          | 24 |
| ディスプレイに接続するコンピューターへのSMARTソフトウェアのインストール ..... | 24 |
| ディスプレイに接続するコンピューターの解像度およびリフレッシュレートの設定 .....  | 25 |
| ディスプレイへのコンピューターの接続 .....                     | 26 |
| 接続したコンピューターの入力の表示 .....                      | 26 |
| 接続しているコンピューターでSMARTソフトウェアを使用する .....         | 26 |

## ディスプレイをオンまたはオフにする

### ディスプレイをオンにする

プレゼンス検知と「ディスプレイをオンにする」オプションが有効になっている場合は、ユーザーが最初に部屋に入るときにディスプレイがオンになります。

### 注記


ディスプレイのプレゼンス検知センサーは最大16'(5m)離れている人を検知することができます。

「タッチしてスリープ解除」オプションを有効にする場合は、画面にタッチするとディスプレイがオンになります。

あるいは、フロントコントロールパネルにある「待機」ボタン  を押してディスプレイをオンにします。

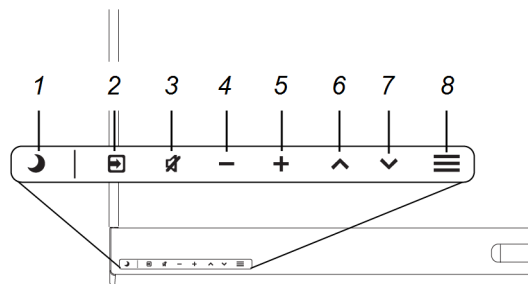
### ディスプレイをオフにする

プレゼンス検知が有効になっている場合、センサーが事前設定した期間に室内で人を検知しないと、ディスプレイは「待機モード」に戻ります。

あるいは、フロントコントロールパネルにある「待機」ボタン  を2回押してディスプレイをオフにします。

## フロントコントロールパネルの使用

フロントコントロールパネルには、「待機」、「入力選択」、「ミュート」、ボリュームコントロールおよびオンスクリーンディスプレイメニューボタンが含まれています。





| No. | Name              | 手順   |
|-----|-------------------|--|
| 1   | スタンバイ             | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 押すとスタンバイモードを終了します。</li><li>・ 2回 押すとスタンバイモードになります。</li><li>・ 押し続けるとディスプレイがリセットされます。</li></ul>   |
| 2   | 選択                | <ul style="list-style-type: none"><li>・ オンスクリーンディスプレイメニューが開いていない場合は、押して入力を切り替えます。</li><li>・ オンスクリーンディスプレイメニューが開いている場合、押すと現在選択されているメニューが開きます。<sup>1</sup></li></ul>   |
| 3   | ミュート              | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 押すとミュート、またはミュート解除されます。</li><li>・ 押したままにすると、画面が停止または停止が解除されます。(18 ページ 参照)。</li></ul>  |
| 4   | 下げる               | <ul style="list-style-type: none"><li>・ オンスクリーンディスプレイメニューが開いていない場合は、押してボリュームを下げます。</li><li>・ オンスクリーンディスプレイメニューが開いている場合、現在選択されているオプションの値を減少するボタンを押します。<sup>2</sup></li></ul>                                |
| 5   | 上げる               | <ul style="list-style-type: none"><li>・ オンスクリーンディスプレイメニューが開いていない場合は、ボリュームを上げるボタンを押します。</li><li>・ オンスクリーンディスプレイメニューが開いていない場合、現在選択されているオプションの値を減少するボタンを押します。<sup>2</sup></li></ul>                           |
| 6   | 上に移動 <sup>2</sup> | 押すと現在のメニューの以前のオプションに移動します。   |
| 7   | 下に移動 <sup>2</sup> | 押すと、現在のメニューの次のオプションに移動します。   |
| 8   | メニュー <sup>2</sup> | <ul style="list-style-type: none"><li>・ オンスクリーンディスプレイメニューが開いていない場合は、押してオンスクリーンディスプレイメニューを開きます。</li><li>・ オンスクリーンディスプレイメニューが開いている場合は、押すと以前のメニューに戻ります。</li><li>・ 押したままにすると、オンスクリーンディスプレイメニューが閉じます。</li></ul> |



#### ! 重要事項

- ・ フロントコントロールパネル上にフィルムがある場合は、フロントコントロールパネルを使用する前に取り外します。
- ・ ボタンを押しても反応しない場合、前面のコントロールパネルが無効になっている場合があります。前面のコントロールパネルを有効にするには、スタンバイボタンを点灯するまで押し続けてください。

通常動作時、すべてのボタンは白色です。

<sup>1</sup>SPNL-6000-V3/SBID-6000モデルのみ

スタンバイボタンは、インジケータライトとしても機能します。

| インジケータライト   | ステータス                                    | 手 順  |
|-------------|--|--|
| 白色に点灯       | 通常動作                                     | 該当なし   |
| オフ          | 電源なし                                     | <ul style="list-style-type: none"><li>ディスプレイの電源ケーブルが電源コンセントに接続されていることを確認します。</li><li>AC電源差込口の横にあるスイッチを(I)の位置の ONI にフリックします。</li></ul>  |
| オレンジ点灯      | DPMS(電源管理)モード                            | <ul style="list-style-type: none"><li>「待機」ボタンを押して  DPMS モードを終了します。</li><li>入力ソースを接続します。</li></ul>   |
| オレンジでゆっくり点滅 | スタンバイモード                                 | <ul style="list-style-type: none"><li>「待機」ボタンを押して  「待機モード」を終了します。</li><li>プレゼンス検知が有効な場合、プレゼンス検知センサーの範囲で移動します。</li><li>タッチしてスリープ解除を有効にする場合は、画面にタッチします。</li></ul> |
| オレンジで点滅     | 接続されているコンピューターからの USB 接続なし               | <ul style="list-style-type: none"><li>コンピューターへの接続を確認します。</li><li>コンピューターの入力に切り替えます。</li></ul> 26 ページ接続したコンピューターの入力の表示参照。   |
| 白でゆっくり点滅    | 接続されているコンピューターで実行されていない SMART Board サービス | SMART 製品ドライバーがインストールされ、SMART Board サービスが実行されていることを確認します。   |

## オーディオの調整

音声付きコンテンツを表示している場合、音量を上げたり下げたり、ミュートを設定、解除するフロントコントロールパネル上のボタンを使用できます(7 ページフロントコントロールパネルを参照)。

## 画面の停止

フロントコントロールパネルの「ミュート」ボタンを押したままにすることで、画面を一時的に固定することができます(7 ページフロントコントロールパネルを参照)。これは、ビデオ、アニメーション、またはその他の動画コンテンツを一時停止する場合に特に役立ちます。

### 注記

画面を一旦停止しても、接続しているコンピューターで実行中のアプリケーションは停止しません。画面が停止するだけです。

画面の固定を解除するには、「ミュート」ボタンをもう一度押したままにします。

## タッチ機能の使用

ディスプレイの表面にタッチすることにより—アプリケーションの開閉、他の人と会う、新規ドキュメントの作成または既存のものの編集、ウェブサイトの閲覧、ビデオの再生と操作等—コンピューターで行えることはディスプレイですべて行うことができます。

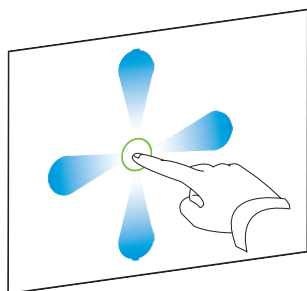
パン、スケーリング、回転、ズームイン、ズームアウトなど、アプリケーション内のジェスチャーの配列を使用できます。

アプリケーション内ではジェスチャも使うことができます。

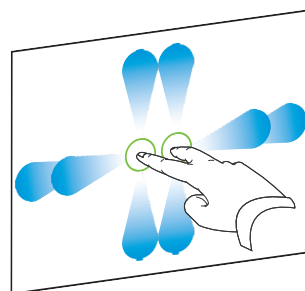
### 注記

アプリケーションによっては使えないジェスチャもあります。対応しているジェスチャは、アプリケーションのマニュアルを参照してください。

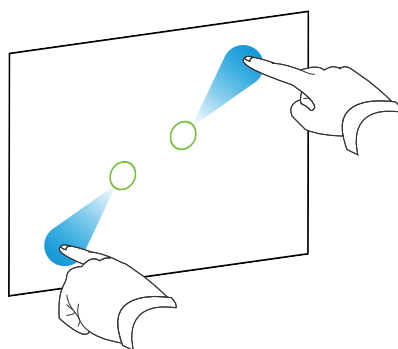
パン(指1本)



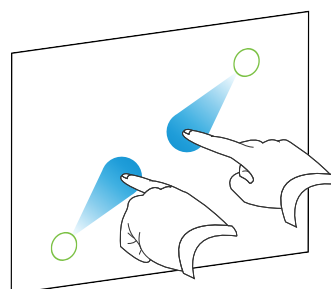
パン(指2本)/スクロール



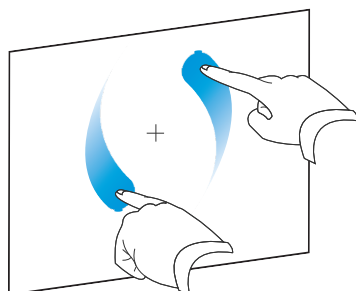
つまんでズームイン/(拡大)



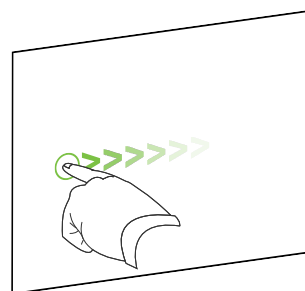
つまんでズームアウト/(縮小)



回転



フリック



## ペンの使用

ディスプレイには、付属の2本のインク消し付ペンが付属しています。

ディスプレイの下側フレームには、ペンを収納するマグネットホルダーがあります。ホルダーからペンを外すとペンが作動し、デジタルインクで描画したり消したりといった作業を行うことができます。

---

### 注意事項

ペンをマグネットホルダーに戻す際は、落下や損傷を避けるためにホルダーの中心に置いてください。

---

### 重要事項

SMART Board 6000および6000 Proシリーズインタラクティブディスプレイ用に設計されたペンのみを使用してください([smarttech.com/kb/171230](https://smarttech.com/kb/171230)参照)。

---

## 書き込み、描画および消去

ペンを使用して、デジタルインクで書き込みや描画ができます。ペンのインク消しの先端またはジェスチャーのどちらかを使用してデジタルインクを消去できます。

---

### 注記

- 手、腕や緩んだ衣類が、書き込み、描画、消去時にディスプレイの表面に触れないことを確認します。
  - 接続されているコンピューターの入力を表示している場合、SMART インクでコンピューター上のアプリケーション、ファイル、フォルダー、ウェブサイトおよびその他の開いているウィンドウ上にデジタルインクで書き込みまたは描画することができます。
- 

## デジタルインクによる書き込みまたは描画

- ディスプレイのペンを1本手に取ります。
- デジタルインクで書き込みまたは描画するペンを使用します。

---

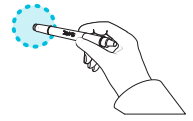
### 注記

ペンID機能で、同時に黒と赤ペンを使用し、個別に色やその他の設定をカスタマイズすることができます。

---

### デジタルインクを消去するには

ペンのイレーザを消したいデジタルインクに合わせます。



OR

消したいデジタルインクの上に掌や拳を移動します。




## ペンの色、太さ、その他の変更

ペンのデフォルトの色や太さ、その他プロパティは変更することができます。

- ホワイトボードのアプリやその他 iQ を使用したアプリの使用中に、ペンのプロパティを変更する方法は、[ホワイトボードの使用](#)を参照してください。
- 接続したコンピューターの使用中に、ペンのプロパティを変更するには、[SMART Inkの使用](#)を参照してください。

## iQの使用

### ホーム画面の使用

iQのホーム画面には、最近使用したファイルとお気に入りアプリ、ファイルが表示されます。ディスプレイとの共有は右上にある  をタップしても開始することができます。ディスプレイの背景を変更して表示をカスタマイズすることもできます。

### ホーム画面の表示方法

画面の下にあるホームボタン  をタップします。

## アプリライブラリの使用方法

アプリライブラリには、ブラウザ、SMART Notebook Player、ホワイトボードの各アプリが入っています。ウェブおよびSMARTのアプリストアからもアプリを追加できます。

---

### 注記

SMART Notebook Playerは、教育機関向けモデルのみで利用することができます。

---

### アプリライブラリの開き方

ホーム画面で、**アプリライブラリ** をタップします。

## ファイルライブラリの使用方法

ファイルライブラリには、ホワイトボードセッション、ディスプレイと共有したSMART Notebookファイル、PDF、フィルムが入っています。USBドライブがディスプレイに接続されている場合、このUSBドライブ内のファイルもファイルライブラリで利用できます。これらのファイルはディスプレイ上で見ることはできますが、ディスプレイには保存されません。

---

### 注記

SMART Notebook Playerは、教育機関向けモデルのみで利用することができます。

---

## ファイルライブラリの開き方

ホーム画面で、**Files Library (ファイルライブラリ)** をタップします。

## ホワイトボードの使用方法

ホワイトボードを使用して、従来型のホワイトボードと同様にディスプレイ上に文字等を書き込んだり、消去したりすることができます。また、メモを保存して後で参照したり、SMART kapp®アプリを使用して共有したりすることもできます。

ディスプレイのペンやイレーザでホワイトボードに文字や絵を描く方法に関しては、20 ページ書き込み、描画および消去を参照してください。

ホワイトボードのその他の機能の使用方法については、[ホワイトボードの使用方法](#)を参照してください。

## SMART Notebook Playerの使用方法

SMART Notebook Playerを使用して、SMART Notebookソフトウェアのファイルを開き、閲覧し、作業します。Notebook Playerを使用することで、SMART Notebookファイルの表示やSMART lab™のアクティビティをディスプレイ上で容易に操作することができます。

Notebook PlayerアプリをiOSデバイスにインストールして、SMART Notebookのファイルをこのデバイスで表示したり管理したりすることもできます。

SMART Notebook Playerの詳細に関しては、[SMART Notebook Playerの使用方法](#)を参照してください。

## ブラウザの使用

ブラウザを使用してディスプレイ上でウェブサイトを開覧することができます。

ブラウザの詳細に関しては、[ブラウザの使用方法](#)を参照してください。

## 入力の使用方法

ディスプレイのコネクタを介して、室内のコンピューターやゲストのノートパソコン、その他入力源を使用することができます。

ディスプレイへのコンピューターの接続方法、およびビデオ入力の方法に関しては、[入力の使用方法](#)を参照してください。

## 画面の共有 (Screen Share) の使用方法

画面の共有機能を使用して、コンピューターやモバイルデバイスの画面をワイヤレスでディスプレイ上で共有することができます。

画面の共有機能が対応しているデバイス:

- Chromebook™ラップトップで、Google™ CastのChrome™ ブラウザの拡張を使用
- Windowsコンピューターで、<sup>2</sup>、Google CastのChrome ブラウザの拡張、またはAirParrotを使用
- MacコンピューターとiOSデバイスで、AirPlayを使用
- Android™デバイスで、Cast Screenを使用

## スクリーンショットの使用

ブラウザアプリまたは画面共有アプリを使用する場合、書き込みレイヤに書き込みや描画を行い、スクリーンショットをファイルライブラリに保存できます。

スクリーンショットの詳細に関しては、[iQ書き込みレイヤの使用方法](#)を参照してください。

## ディスプレイのクリーンアップ

ディスプレイの使用後、ランチャーを表示して**クリーンアップ**  をタップし、次のユーザーのためにディスプレイをクリーンアップします。

## Intel Compute Cardの接続と使用

SPNL-6365-V3/SBID-6365、SPNL-6375-V3、SPNL-6365-V2、SPNL-6375、SPNL-6365P、およびSPNL-6375Pの各モデルには、Intel Compute Cardが搭載されています。Intel Compute CardをiQコントローラのスロットに挿入し、Intel Compute CardのWindows 10オペレーティングシステムをディスプレイに表示します。

---

### ヒント

ディスプレイ付属のIntel Compute Cardにある、SMARTソフトウェアをインストールすることができます。ソフトウェアのインストールの詳細に関しては、24 ページディスプレイに接続するコンピューターへのSMARTソフトウェアのインストールを参照してください。

---

---

<sup>2</sup>Windows 10オペレーティングシステム限定でMiracast

### Intel Compute Cardの入力を表示する

フロントコントロールパネルの「入力選択」ボタンを押して、 *Compute Card* を選択します。

## コンピューターの接続と使用

### ディスプレイに接続するコンピューターへのSMARTソフトウェアのインストール

SPNL-6000-V3/SBID-6000、SPNL-6000-V2 およびSPNL-6000-V1 モデルには、SMART Learning Suite( SMART Notebook ソフトウェアおよび SMART Learning Suite Onlineを含む) の1年間のサブスクリプションが付いています。SMART Notebookソフトウェアを[smarttech.com/downloads](https://smarttech.com/downloads)からダウンロードし、Intel Compute Cardや部屋のコンピューターにインストールします。

SPNL-6000P モデルには、SMART Meeting Proソフトウェアの1つの部屋のライセンスと25の個人ライセンスが付いています。SMART Meeting Proソフトウェアを[smarttech.com/downloads](https://smarttech.com/downloads)からダウンロードし、Intel Compute Cardや部屋のコンピューターに部屋のライセンス、および最大10人のユーザーのラップトップに個人ライセンスをインストールします。

他のコンピューターにもインストールする場合は、SMARTソフトウェアから追加ライセンスを購入してください。詳細は、SMART正規代理店 ([smarttech.com/where](https://smarttech.com/where)) にお問い合わせください。

#### 注記

SMART Notebookソフトウェアまたは SMART Meeting Pro ソフトウェアに加えて、ディスプレイに接続するあらゆるコンピューターに以下のソフトウェアをインストールする必要があります。

| ソフトウェア        | 説明   |
|---------------|--|
| SMART 製品ドライバー | Intel Compute Cardまたは接続されているコンピューターが、ディスプレイから入力を検出できるようにします。         |
| SMART Ink®    | デジタルインクを使用して、アプリケーションやファイル、フォルダ、ウェブサイトその他の、ウィンドウ上に書き込みや描画を行うことができます。 |



## ディスプレイに接続するコンピューターの解像度およびリフレッシュレートの設定

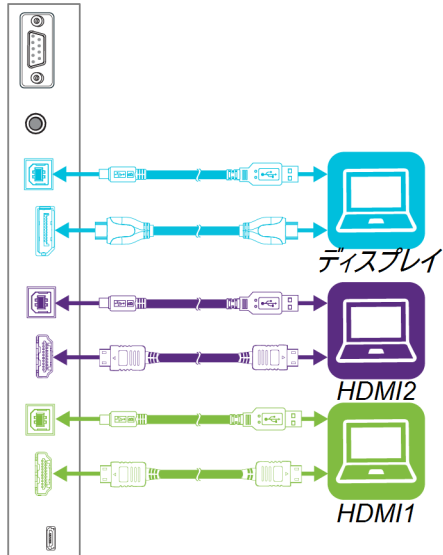
次の表に、ディスプレイの入力ソース用の推奨解像度とリフレッシュレートを示します。

| モデル                              | HDMI 1           | HDMI 2           | DisplayPort      |
|----------------------------------|------------------|------------------|------------------|
| <b>SPNL-6000-V3/SBID-6000モデル</b> |                  |                  |                  |
| SPNL-6365-V3/<br>SBID-6365       | 60Hzで1920 × 1080 | 60Hzで1920 × 1080 | 3840 × 2160、60Hz |
| SPNL-6375-V3                     | 60Hzで1920 × 1080 | 60Hzで1920 × 1080 | 3840 × 2160、60Hz |
| SPNL-6265-V3/<br>SBID-6265       | 60Hzで1920 × 1080 | 60Hzで1920 × 1080 | 3840 × 2160、60Hz |
| SPNL-6275-V3                     | 60Hzで1920 × 1080 | 60Hzで1920 × 1080 | 3840 × 2160、60Hz |
| SPNL-6065-V3/<br>SBID-6065       | 1920 × 1080、60Hz | 60Hzで1920 × 1080 | 3840 × 2160、60Hz |
| SPNL-6075-V3                     | 1920 × 1080、60Hz | 60Hzで1920 × 1080 | 3840 × 2160、60Hz |
| <b>SPNL-6000-V2モデル</b>           |                  |                  |                  |
| SPNL-6365-V2                     | 60Hzで1920 × 1080 | 60Hzで1920 × 1080 | 3840 × 2160、60Hz |
| SPNL-6375                        | 60Hzで1920 × 1080 | 60Hzで1920 × 1080 | 3840 × 2160、60Hz |
| SPNL-6265-V2                     | 60Hzで1920 × 1080 | 60Hzで1920 × 1080 | 3840 × 2160、60Hz |
| SPNL-6275                        | 60Hzで1920 × 1080 | 60Hzで1920 × 1080 | 3840 × 2160、60Hz |
| SPNL-6065-V2                     | 60Hzで1920 × 1080 | 60Hzで1920 × 1080 | 3840 × 2160、60Hz |
| SPNL-6075                        | 60Hzで1920 × 1080 | 60Hzで1920 × 1080 | 3840 × 2160、60Hz |
| <b>SPNL-6000-V1モデル</b>           |                  |                  |                  |
| SPNL-6055                        | 60Hzで1920 × 1080 | [N/A]            | [N/A]            |
| SPNL-6065                        | 60Hzで1920 × 1080 | 該当なし             | 該当なし             |
| <b>SPNL-6000Pモデル</b>             |                  |                  |                  |
| SPNL-6365P                       | 60Hzで1920 × 1080 | 1920 × 1080、60Hz | 3840 × 2160、60Hz |
| SPNL-6375P                       | 60Hzで1920 × 1080 | 1920 × 1080、60Hz | 3840 × 2160、60Hz |
| SPNL-6265P                       | 60Hzで1920 × 1080 | 1920 × 1080、60Hz | 3840 × 2160、60Hz |
| SPNL-6275P                       | 60Hzで1920 × 1080 | 1920 × 1080、60Hz | 3840 × 2160、60Hz |
| SPNL-6065P                       | 60Hzで1920 × 1080 | 1920 × 1080、60Hz | 3840 × 2160、60Hz |
| SPNL-6075P                       | 60Hzで1920 × 1080 | 1920 × 1080、60Hz | 3840 × 2160、60Hz |

可能な場合、接続したコンピューターをこれらの解像度とリフレッシュレートに設定してください。手順に関しては、接続しているコンピューターのオペレーティングシステムのマニュアルを参照してください。

## ディスプレイへのコンピューターの接続

ディスプレイにコンピューターとSMART ラーニングスイートを接続し、その後 ディスプレイにコンピューターの入力を表示 できます。




### 注記

- コンテンツを操作するには、コネクタパネルで適切なUSBタイプBの差込口に(上記の図のように)USBケーブルを接続します。
- 組織の設置者がディスプレイにケーブルを接続した可能性があり、コンピューターを設置することができる壁の後ろかまたは机やテーブルの床下にケーブルを走らせます。
- 旧モデルのiQ機器 (AM30)がある場合、コンピューターを接続し、コンピューターの入力を表示する「入力アプリ」を使用できます。入力アプリの詳細に関しては、21 ページiQの使用を参照してください。

## 接続したコンピューターの入力の表示

接続したコンピューターからの入力をディスプレイ上に表示するには、Inputアプリを使用します。

### 接続されているコンピューターの入力を表示する

1. ディスプレイにコンピューターを接続します。
2. **HDMI1**、**HDMI2**または**DisplayPort**が選択されるまで  フロントコントロールパネルで「入力 選択」ボタンを押します。

## 接続しているコンピューターでSMARTソフトウェアを使用する

コンピューターをディスプレイに接続した後、SMARTソフトウェアを使用してコンテンツを表示させて複数名で作業することができます。

SMART ソフトウェアの詳細に関しては、次の SMART ウェブサイトのサポートページを参照してください。

- [SMART Notebook](#)
- [SMART Learning Suite Online](#)
- [SMART Meeting Pro](#)
- [SMART 製品ドライバー](#)
- [SMART Ink](#)



### 第 3 章

## トラブルシューティング

|  |    |
|--|----|
| 電源の問題解決 .....                            | 30 |
| プレゼンス検知に関する問題の解決およびタッチしてスリープを解除します ..... | 30 |
| 前面コントロールパネルの問題の解決 .....                  | 31 |
| ビデオの問題解決 .....                           | 31 |
| 画質の問題解決 .....                            | 32 |
| オーディオの問題解決 .....                         | 33 |
| タッチおよびデジタルインクの問題解決 .....                 | 34 |
| iQの問題解決 .....                            | 35 |
| Intel Compute Cardの問題解決 .....            | 35 |
| ソフトウェアの問題解決 .....                        | 35 |
| その他の問題に関しては、SMARTナレッジベースを参照してください .....  | 35 |
| その他のサポート、販売店へのお問い合わせ .....               | 35 |
| ディスプレイのシリアル番号の場所 .....                   | 35 |
| iQコントローラのシリアル番号の場所 .....                 | 36 |

本章では、以下の、ディスプレイのよくある問題の解決方法を説明します。

- 電源
- プレゼンス検知 およびタッチしてスリープを解除
- フロントコントロールパネル
- ビデオ
- 画質
- オーディオ
- タッチおよびデジタルインク
- iQの使用
- Intel Compute Card
- ソフトウェア

### ヒント

フロントコントロールパネルの「待機」ボタンは、インジケータライトとしても機能します。ディスプレイに関する一般的な問題を解決するインジケータライトを使用できます。詳細につきましては、7 ページフロントコントロールパネルをご参照ください。

## 電源の問題解決

| 問題  | 解決法   |
|---|---|
| ディスプレイと、その電源ランプが点灯しません。                     | <ul style="list-style-type: none"><li>電源ケーブルが、コンセントとディスプレイの両方にしっかりと固定されていることを確認します。</li></ul> <div><b>注記</b><br/>電源バーに電源ケーブルが接続されている場合、電源バーがコンセントにしっかりと固定されており、オンになっていることを確認します。</div> <ul style="list-style-type: none"><li>AC電源差込口の横にあるスイッチが(I)の位置でONになっていることを確認します。</li><li>別のデバイスでテストして、電源コンセントが動作することを確認します。</li><li>別のデバイスでテストして、電源ケーブルが動作することを確認します。</li></ul> |
| ディスプレイがONになり、電源ライトが点灯しましたが、画面に何も表示されません。    | <ul style="list-style-type: none"><li>31 ページビデオの問題解決をご参照ください。</li><li>ディスプレイを再起動します。</li></ul>  |
| コンピューターのマウスまたはキーボードを使用する際に、ディスプレイがONになりません。 | <ul style="list-style-type: none"><li>コンピューターがオンになっていることを確認します。</li><li>ディスプレイがスタンバイモードではなく省電力モードであることを確認します。オンスクリーンディスプレイメニューから、省電力モードを有効にすることができます。</li></ul> <div><b>注記</b><br/>ディスプレイが省電力モードの場合、ディスプレイの電源ライトはオレンジに点灯しています。</div>  |
| その他の電源の問題がある、または上記のソリューションで解決できない問題が発生中です。  | 35 ページその他の問題に関しては、SMARTナリッジベースを参照してください。  |

## プレゼンス検知に関する問題の解決およびタッチしてスリープを解除します

| 問題                        | 解決法  |
|---------------------------|--|
| ユーザーの入室時にディスプレイがONになりません。 | <ul style="list-style-type: none"><li>全てのケーブルがしっかりと接続されており、プレゼンス検出が有効になっていることを確認します。</li><li>プレゼンス検知センサーをブロックしているものが何もないことを確認します。</li></ul>  |
| 必要でない場合ディスプレイは点きます。       | <ul style="list-style-type: none"><li>ユーザーが部屋を出る時間が十分あるように再起動時刻オプションを設定します。</li><li>ディスプレイをチェックし、可能であれば次の物体から離します。<ul style="list-style-type: none"><li>直射日光</li><li>明るい光</li><li>強制換気ダクト</li><li>プラズマディスプレイ</li><li>赤外線オーディオシステムおよびその他の赤外線を発する装置</li><li>磨かれた床、ガラス壁、またはその他の反射面</li></ul></li><li>プレゼンス検知センサーの範囲は16' (5 m)であることにご注意ください。</li></ul> |

| 問題  | 解決法  |
|---|--|
| ユーザーが画面をタッチした場合ディスプレイは起動しません。                     | <ul style="list-style-type: none"><li>ユーザーは、少なくとも1秒間画面をタッチしていることを確認します。</li><li>スケーラーファームウェアが1.1.0.6以前のSPNL-6000-V1モデルでは、画面をタッチしてもスリープ解除されないことに注意してください。</li></ul> |
| 存在検知やタッチしてスリープ解除で別の問題が発生している、または上記解決策で問題が解決しない場合。 | 35ページその他の問題に関しては、SMARTナレッジベースを参照してください。  |

## 前面コントロールパネルの問題の解決

| 問題                     | 解決法  |
|------------------------|--|
| 前面コントロールパネルを押しても反応しない。 | 前面コントロールパネルのスタンバイボタンが点灯するまでボタンを押し続けて、再度有効にします。 |

## ビデオの問題解決

| 問題  | 解決法   |
|---|---|
| ビデオで下記または類似の問題が発生中です。 <ul style="list-style-type: none"><li>ビデオが歪んでいます。</li><li>視覚的ノイズがあります。</li><li>画像が暗くなっています。</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>接続されているコンピューターがオンになっており、スタンバイモードでないことを確認します。</li><li>接続されているコンピューターの解像度とリフレッシュレートを、ディスプレイが対応している値に設定します。<br/>25ページディスプレイに接続するコンピューターの解像度およびリフレッシュレートの設定参照。</li><li>ディスプレイと接続されている全てのコンピューターを再起動します。</li><li>コンピューターとディスプレイを接続しているビデオケーブルを交換し、問題がケーブルにあるかどうか判断します。</li></ul>   |
| ディスプレイはONになっているが、何も表示されない。  | <ul style="list-style-type: none"><li>電源ランプが連続点灯または低速点滅している場合、電源ボタンを押してディスプレイをONにします。<br/><a href="#">SMART Board 6000シリーズと8000i-G5シリーズのインタラクティブディスプレイの電源モードの理解</a>を参照してください。</li><li>接続されているコンピューターに電源が入り、スタンバイモードになっていないことを確認します。</li><li>オンスクリーンディスプレイメニューを開いて、画面が動作していることを確認します。</li><li>ディスプレイと接続されている全てのコンピューターを再起動します。</li><li>コンピューターとディスプレイを接続しているビデオケーブルを交換し、問題がケーブルにあるかどうか判断します。</li></ul> |
| コンピューターはディスプレイに接続されているが、「信号なし」または「初期化中」というメッセージのみが表示される。  | コンピューターが、現在選択されている入力に接続されていることを確認します。   |
| マルチウィンドウ機能で、1つまたは複数のビデオ入力が動作しない。  | マルチウィンドウ機能が正しく設定されていることを確認します。  |

| 問題                                    | 解決法  |
|---------------------------------------|--|
| ビデオを別のディスプレイに出力したい。                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>新しいAM30 / AM40を搭載したディスプレイのみがビデオ出力に対応しています。</li> <li><a href="#">セカンダリディスプレイの使用</a>を参照してください。</li> </ul> |
| ビデオにその他の問題が生じている、または上記解決策で問題が解決しない場合。 | 35 ページ <a href="#">その他の問題</a> に関しては、 <a href="#">SMARTナレッジベース</a> を参照してください。   |

## 画質の問題解決

| 問題   | 解決法   |
|--|---|
| <p>イメージの品質で下記または類似の問題が発生中です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>画面にラインまたはスノーがあります。</li> <li>ちらつきや点滅がある場合、イメージ</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>ディスプレイでサポートされている値に、コンピューターの解像度やリフレッシュレートを設定します。<br/>25 ページ <a href="#">ディスプレイに接続するコンピューターの解像度およびリフレッシュレートの設定</a> 参照。</li> <li>オンスクリーンディスプレイを開きます。これが正常に表示される場合、ビデオ入力に問題があります。</li> <li>ディスプレイのイメージ設定を調整します。</li> <li>ディスプレイを再起動します。</li> </ul> |
| 画面上に、ドット欠けまたは常時点灯のピクセルがあります。   | <a href="#">ピクセルの問題</a> をご参照ください。   |
| 画面上に明るい点があります。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>オンスクリーンディスプレイメニューを開きます。これが正常に表示される場合、ビデオ入力に問題があります。</li> <li>画面の写真を撮り、SMARTサポートにお送りください。SMARTサポートにより、画面に問題があり、ディスプレイが保証の対象であると判断される場合、代替のディスプレイを提供されます。</li> </ul>   |
| 画像が明瞭ではありません。線が入っているように見えたり、二重にぼやけたり歪んでいるように見えます。  | ディスプレイのイメージ設定を調整します。  |
| 色が正しく表示されません。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>2つ以上のディスプレイを横に並べて取り付ける場合には、ディスプレイの色が少々異なる場合があることに注意してください。これは、SMART製品に特有の問題ではありません。</li> <li>マルチウィンドウ機能を使用する場合には、各ビデオ入力に独自のイメージ設定があることに注意してください。</li> <li>工場出荷時リセットを実行します。</li> </ul>  |
| 画像が切れるかまたは左右にずれています。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>接続しているコンピューターのビデオ設定、特にズーム、クロップ、アンダースキャンを調整します。<br/>コンピューターのオペレーティングシステムのマニュアルをご参照ください。</li> <li>コンピューターのデスクトップが完全な黒の場合は、濃い灰色または別の色に変更します。</li> <li>コンピューターの背景が複数の画面に拡張している場合、デスクトップを複数画面で重複させるか、1つの画面としてディスプレイを設定します。</li> </ul>               |
| 画像が画面全体に広がっていません。  | <p>接続しているコンピューターのビデオ設定、特にオーバースキャンを調整します。</p> <p>コンピューターのオペレーティングシステムのマニュアルをご参照ください。</p>   |
| ディスプレイにイメージが表示され続けます。  | <a href="#">イメージ永続性またはLCDディスプレイ上の焼き付け</a> をご参照ください。   |



| 問題  | 解決法   |
|---|---|
| その他のイメージの品質の問題がある、または上記のソリューションで解決できない問題が発生中です。 | 35 ページ <i>その他の問題</i> に関しては、SMARTナレッジベースを参照してください。 |

## オーディオの問題解決

| 問題   | 解決法  |
|--|--|
| オーディオで下記または類似の問題が発生中です。 <ul style="list-style-type: none"><li>スピーカーから音が聞こえてこない。</li><li>スピーカーから音が聞こえるが、音量が小さい。</li><li>音がひずむかくもった。</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>外部スピーカーを使用している場合は、スピーカーの電源が入っていることを確認します。</li><li>コンピューターにディスプレイ接続するケーブルがしっかりと固定されていることを確認します。</li><li>本製品と接続したコンピューターで音量を調整し、いずれもミュートされていないことを確認します。</li><li>ディスプレイのオーディオ設定を調整します。</li><li>接続しているコンピューターのオーディオ出力で、本製品がデフォルトのオーディオデバイスに設定されていることを確認してください。<br/>接続しているコンピューターの、オペレーティングシステムのマニュアルを参照してください。</li><li>内蔵スピーカーを使用している場合、コンピューターと実行中のアプリケーションの音量を80%に設定した後、ディスプレイの音量を調整します。<br/>または<br/>外付けスピーカーを使用している場合、コンピューター、実行中のアプリケーション、およびディスプレイの音量を80%に設定した後、スピーカーの音量を調整します。</li></ul> |
| ディスプレイ背面から、ウィーンまたはジジジという音が聞こえます。   | <ul style="list-style-type: none"><li>これは正常な音です。すべてのディスプレイ製品が電氣的ノイズを発しています。このノイズの大きさは、ディスプレイごとに異なります。ただし、ディスプレイ前面から音が聞こえる場合は、詳細な点検が必要になります。</li><li>すべてのデバイスを同じ電源コンセントまたは電源タップに接続してください。</li></ul>   |
| 問題が解決しない場合、オーディオ機能に別の問題が発生しています。   | 35 ページ <i>その他の問題</i> に関しては、SMARTナレッジベースを参照してください。  |

## タッチおよびデジタルインクの問題解決

| 問題   | 解決法   |
|--|---|
| タッチとデジタルインクで下記または類似の問題が発生中です。 <ul style="list-style-type: none"><li>ユーザーが画面上にタッチまたは書き込む場合、ポインターまたはデジタルインクは間違った場所に表示されます。</li><li>タッチしたり、画面上に書き込みしようとする、「機能が制限されています」というメッセージが表示されます。</li><li>タッチおよびデジタルインクが途切れます。</li><li>ディスプレイは、画面部分にタッチすることでのみ応答します。</li><li>デジタルインクで書いても消えます。</li><li>デジタルインクの色が急に変わります。</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>ペンがインタラクティブ表面を45度の角度以内で接触している、また、手がペンのIRコーンを覆っていないことを確認してください。</li><li>ペンを2本使用している場合、間が少なくとも2"(5cm)離れていることを確認してください。</li><li>ディスプレイを再起動します。</li><li>コンピューターが1本のケーブルのみでディスプレイに接続されていることを設置者と一緒に確認します。</li><li>カメラとフレームを全側面においてクリーニングし、カメラの視野をさえぎるようなチリや物体がないことを確認してください。</li><li>ディスプレイを調整します。</li><li><a href="#">SMART製品ドライバーとSMART Ink</a>がインストールされ、接続されたコンピューターで実行されていることを確認します。</li><li>別のディスプレイから動作中のペンを使用して、問題がペンによって起こっているかどうかをチェックします。</li><li>白熱灯やアーク灯等の赤外線発信源、デスクランプ、赤外線オーディオデバイスを取り除くか、ディスプレイを部屋の別な場所に移動させます。</li><li>SMART診断を使用して、ディスプレイのカメラのいずれかが作動停止しているかどうかを確認します。</li><li><a href="#">ビュメニューを使用</a>を参照してください。</li><li><a href="#">ファームウェアを更新してください</a>。</li></ul> <div><b>注記</b><p>必ずファームウェアを更新した後で、パネルを調整します。</p></div> <ul style="list-style-type: none"><li>壁からディスプレイを取り外し、調整して、問題が解決したかどうかを確認します。問題が解決している場合には、壁と壁のマウントに問題がないかをチェックします。</li></ul> |
| ディスプレイはタッチに反応するが、ペンで書いても反応がありません。  | <a href="#">SMART Product Drivers</a> を再インストールまたはアップデートします。   |
| ディスプレイはタッチまたはペンのライティングには反応しません。  | 接続されているコンピューターがディスプレイのUSB接続を検出し、ドライバーをインストールしていることを確認します。Windowsコンピューターでは、デバイスマネージャーを開き、ディスプレイのアイコン上に赤または黄色の感嘆符(!)が表示されていないことを確認してください。Macコンピューターでは、システム情報を開き、ディスプレイの行にエラーメッセージが表示されていないことを確認します。   |
| マルチウィンドウ機能の使用時、ディスプレイがタッチに反応しない。   | マルチウィンドウ機能はタッチ操作に対応していません。  |
| Microsoft Officeでは、書き込みや描画を行うことはできません。   | <ul style="list-style-type: none"><li>Microsoft Office 2013以降がインストールされていることを確認してください。</li><li><a href="#">SMART製品のドライバおよびSMART Ink</a>を、再インストールまたは更新してください。</li></ul>   |
| SMART Inkツールバーは、ペンを使用していない場合も表示されます。   | 2つ以上のディスプレイを同じ壁に設置している場合は、カメラが互いに干渉しない位置になっていることを確認します。   |
| タッチおよびデジタルインクでその他の問題が発生している、または上記解決策で問題が解決しない場合。   | 35 ページ <a href="#">その他の問題</a> に関しては、 <a href="#">SMARTナレッジベース</a> を参照してください。  |

## iQの問題解決

ホワイトボード、SMART Notebook Player、Browser、Input、Screen Shareの各アプリなど、iQの使用に関する問題解決の詳細は、[iQシステムソフトウェアの問題解決](#)を参照してください。

## Intel Compute Cardの問題解決

Intel Compute Cardのドライバなどの問題解決は、[Intel Compute CardのWindows 10のトラブルシューティング](#)を参照してください。

## ソフトウェアの問題解決

SMARTソフトウェアの問題解決の詳細に関しては、次のSMARTウェブサイトのサポートページを参照してください。

- [SMART Notebook 18のトラブルシューティング](#)
- [SMART Learning Suite Onlineのトラブルシューティング](#)
- [SMART Meeting Pro 4のトラブルシューティング](#)
- [SMART Ink 5のトラブルシューティング](#)
- [SMART Product Drivers 12のトラブルシューティング](#)

## その他の問題に関しては、SMARTナレッジベースを参照してください

その他の問題に関しては、SMARTナレッジベースを参照してください。

[community.smarttech.com/s/topic/0TOU00000000XIU9OAK/6000-series#articles](https://community.smarttech.com/s/topic/0TOU00000000XIU9OAK/6000-series#articles)

## その他のサポート、販売店へのお問い合わせ

ディスプレイで発生中の問題が解決しない、このガイドやサポート技術情報で説明されていない場合は、認定SMART販売代理店([smarttech.com/where](https://smarttech.com/where))にお問い合わせください。

販売代理店で、ディスプレイやQコントローラのシリアル番号が必要になる場合があります。

### ディスプレイのシリアル番号の場所

ディスプレイのシリアル番号は、次の場所にあります。

- オンスクリーンディスプレイメニュー
- 下部のフレーム上のラベル
- ディスプレイ背面のラベル上

## iQコントローラのシリアル番号の場所

iQ機器のシリアル番号は、iQ機器のラベルに表示されています。

---

### 注記

シリアル番号ラベルを確認するディスプレイからiQ機器を削除する必要があります。

---



**SMART TECHNOLOGIES**

[smarttech.com/support](https://smarttech.com/support)

[smarttech.com/contactsupport](https://smarttech.com/contactsupport)

[smarttech.com/ja/kb/171166](https://smarttech.com/ja/kb/171166)